

特集

緊急対談  
衆議院議員

にえだ元氣 × 田中たかし

# 福岡市の「いま」と「これから」

福岡市西区選出の県議会議員にえだ元氣さん。日頃から田中たかしも連携を密にしながら活動をともにしています。立憲民主党福岡県第3区総支部長の要職にも在り、現在は活動範囲を早良区・糸島市に広げて国政も視野に積極的に活動していますが、そんなにえだ元氣さんから福岡市の市政向上のための提言をいただくため、緊急対談を行いました。

## 福岡市民の生活は豊かにはほど遠い！

田中：まず、率直にお伺いしますが、福岡県議会議員として福岡市を見てみてどういった感想を持っていますか？

にえだ：変貌著しいといった印象は受けますね。コロナ前のように観光客も戻ってきているようですし、新たなランドマークや高級ホテルも進出してきています。地下鉄七隈線の博多駅までの延伸や先進的なビルへの建て替えなど明るい話題も多いようです。やはり、九州を牽引する都市としての存在感を感じています。

田中：確かに、福岡市は「元氣」との声が多いですが、しかし、市民生活をつぶさに見ていると私は課題も多いと思っていますが、にえださんはいかがですか？

にえだ：私も同感です。特に西区はそれが著しいのではないのでしょうか。例えば、郊外部の過疎化高齢化。鉄道沿線はまだまだ人口は増え続けていますが、鉄道沿線から離れれば一気に雰囲気は変わります。西区は市街化調整区域も多いですから、過疎化の進み方は他の区と比べても早いですよね。それと併せて農水産業の従事者も減っていることも大きな懸念ですね。農業従事者が減

ずすれば耕作放棄地も増えますし、集落の衰退にも直結します。私は農業もしていますが、多くの農家の方からそういった声が届きます。少子化も気になります。福岡市の出生率は低い水準で推移していますので、今後子どもが増えるということは考えにくい。将来的には地域コミュニティの維持などもできなくなるのではないかと心配しています。

田中：にえださんは市民所得についても大きな問題意識を持って発言しています。にえだ：その通りですね。福岡市の市民所得はこの30年増えていません。実質的には減少しています。1990年代はお父さんが一人で稼いでいたというファミリーモデルが多かったと思いますが、今は多くが共働き世帯。つまり一つの世帯で「2馬力」になっているのに所得は上がっていません。大きな問題だと思っています。

田中：その原因は何だと分析していますか  
にえだ：福岡市は第三次産業が大勢を占めることにあると思っています。第三次産業というのは雇用構造として非正社員比率が高いという点が最大の特徴と言われていますが、実際福岡市の非正規雇用率は高いですよ。例えばサービス業などはアルバイトやパートの皆さんで職場の大勢を占めているというのはよく聞く話です。また、サービス業に限って言えば、

景気変動の影響を一気に受けますので、そういった点が原因ではないでしょうか。

## 市民間の格差はどんどん広がっている

田中：経済格差も気になるところですが。にえだ：格差は完全に広がっています。福岡市も東京並みに数億円というマンションが売り出されることが珍しくもなくなりましたが、一方で福岡市民の40%は年収が300万円未満です。さらには、福岡市は子どもの貧困率も高い。政令市では最悪レベルです。この現実をしっかりと受け止めなくてはなりません。

田中：子どもの貧困を無くすためにどういった施策が必要か、福岡市の子育て支援策も踏まえ、ご意見を聞かせください。  
にえだ：福岡市はひとり親家庭への支援策が弱い。特に貧困にあえぐシングルマザー家庭への的確な支援がポイントです。不平等な労働環境や子どもとの兼ね合いなどで稼ぎたくても稼げないシングルマザーは大勢いるはず。まずは男女間の労働環境の格差の解消をすること。他にも昼夜365日問わず子どもを安心して預けられる環境の整備や夫からの養育費が断たれて泣き寝入りしているお母さんを助ける仕組み、それから家賃支援などの住宅政策の充実も必要です。

日本では、家庭の経済格差などの家庭環境によって、子どもの教育格差が生まれています。例えば、四年制大学進学率を世帯収入別に見てみると、その関係性は明らかです。福岡市も小中学校の児童の学力は全国平均より下のようです。家庭の経済状況で子どもの選択肢を狭めるようなことにならないよう、貧困家庭への集中的な経済支援が必要です。あとはファミリー世帯が福岡市に定住し、その子どもたちがまた福岡で家庭を築くといったサイクルの構築が必要だと思います。今の福岡市はファミリー層が住み続けるには生活コストがかかりすぎます。共働き世帯が安心して働けるような仕組み、例えば放課後児童クラブの条件緩和や受け入れ態勢の充実、保育園の入所要件の緩和なども必要かもしれません。あと、病児保育の拡充も必要でしょうね。

以下はコメントのダミー文章で、90文字程度を想定しています。2023年最後の定例会が12月19日に閉会しました。今回も田中たかしは一般質問で登壇。「障がい者でも住みやすい福岡市」実現のための支援策

## にえだ元氣

田中：福岡市民の所得を増やす政策、これは具体的にどんな施策が考えられるでしょうか？  
にえだ：天神ビッグバンなどの再開発事業が市民の所得向上に直接的に結びつかなかったことが問題。天神ビッグバンなどを利用して新たな産業創出、産業誘致すべきでした。熊本のTSMCなどはいい例かもしれませんが、あのように経済波及効果が望める産業誘致などを積極的に進めることが必要です。熊本県はこれにより県GDPが倍増するとの見込みもありますから。あとは、九大との官学連携、糸島市などの近隣自治体との連携もしながら付加価値の高い産業を創出することがカギになると考えています。

## 「これから」の福岡市に必要なもの

田中：最後に、これからの福岡市には何が必要か、そして今のうちから何に取り組むべきか、教えてください。  
にえだ：第三次産業に偏った経済構造を転換していく必要があります。先ほど言いましたが、



福岡市で新たな産業を創出・誘致しそれに伴い雇用の促進と賃金上昇を図る。また、福岡市は農業人口の減少と高齢化が顕在化していますので、例えば耕作放棄地を市が再整備して高齢化した農家がそれを第三者に貸し出すことで農家の安定した賃金と農産物の確保を図るといった「農家が稼げる」仕組みを新たに作り出すなどしなくてはなりません。そういった第三次産業以外の分野でも経済が成り立つような仕組みの構築を求めたい。また、地域コミュニティについても、今は自治協議会制度が曲がり角にきていると感じていますので、人口流動が激しい福岡市でも持続可能な組織運営の手法を取り入れなくてはならないでしょう。住民自治にかかるコスト、これはお金だけでなく労働力や時間も併せて市がそこをどう補填するのか、今後は考えてほしいと思います。福岡市は今元氣かもしれませんが、そこにあぐらをかかず、子育て、貧困、高齢化、などの当事者目線に立った確実な施策展開をお願いしたいと思います。

## 人事案件に一石を投じる

人事案件とは市長が議会の同意を得て選任又は任命する人事に関して、提出する議案をいいます。福岡市議会では慣例として、人事案件は議会上程される前に各会派代表者で構成される「代表者会議」に候補人物を予め提示。その上で最終日に追加議案として提案され採決されることとなっています。

今回は教育委員1名の任期満了に伴い新たに選任される予定でしたが、福岡市民クラブは提示された候補者の居住地や市長との「距離の近さ」を問題視。最終日に追加提案された際には議案質疑を行い、教育委員としての資質を質す構えを取りました。執行部はそういった議会側の動きを鑑み、議会に追加提案することを断念しました。ちなみに、この議案質疑を田中たかしがやる予定となっていました。代表者会議後の会派会議で方針を確認後、一気に質問作成に取り掛かりましたが、最終日直前に取り下げとなり「幻」に終わる結果となりました。

一般的に執行部が提案する人物に議会が異議を唱えることは珍しく、今回は異例の事態となりましたが、教育委員とは福岡市の教育行政を司る重要な役職であることから福岡市民クラブとして「執行部の言うがまま」に終わらせるわけにはいきませんでした。

また、人事案件は委員会に付託されることもなく、執行部が推薦する人物がどのような考えで職務に臨もうとするのか直接本人に質疑する機会もありません。代表者会議で明らかにされる経歴書一枚で判断するしかないというのが現状です。重要な役職である教育委員の資質を経歴書一枚で判断するというのは限界があります。これを機に福岡市民クラブとして同意人事の在り方についてしっかり議論を深めていく考えです。



## 福岡市議会議員(西区)

た なか 崇史  
**田中たかし**

議会通信 vol.23 (2024年 夏号)

### 田中たかしプロフィール

福岡市議会議員(2期目)：福岡市民クラブ政調会長、総務財政委員会委員、議会運営委員会委員 他 福大大濠高校卒業、拓殖大学卒業、法政大学大学院修了、国会議員政策秘書 等

### 田中たかし市政相談所

〒819-0378  
福岡市西区徳永北14-27 1F  
092-407-6236  
tanakatakashi.office@gmail.com



Facebook



ホームページ

以下はコメントのダミー文章で、90文字程度を想定しています。2023年最後の定例会が12月19日に閉会しました。今回も田中たかしは一般質問で登壇。「障がい者でも住みやすい福岡市」実現のための支援策

## 田中たかし

衆議院議員 にえだ元氣 × 田中たかし 緊急対談  
特集 福岡市の「いま」と「これから」